寄宿舎だより

北海道白樺高等養護学校長
山本　貴路
令和８年　３月 24 日　№3

「　心遣い　」

北海道白樺高等養護学校長　山　本　貴　路

今年度は、76 名で寄宿舎生活が始まりました。ほぼ毎朝、皆さんの朝食の様子を見ながら、挨拶を交わすことがとても楽しみでした。「ご飯をしっかり食べているだろうか」「今日も笑顔で挨拶ができて、元気そうだな」「昨夜もしっかり眠れただろうか」など、皆さんの様子を確認することができましたし、「校長先生〇〇」と声をかけてもらえて、何気ない話ができたこともとてもうれしく感じました。また、一日の始まりを、皆さんと笑顔で目を合わせて挨拶することの大切さを感じる毎日でした。

１年生 28 名や今年度から入舎した2・3年生は、不安や緊張の中で寄宿舎生活をスタートしましたが、2、3年生が優しくそして丁寧に接してくれたことで、寂しさを感じず、楽しく寄宿舎生活を送ることができたと思います。

特に3年生の皆さんの優しさと心遣いは、寄宿舎生全員が安心して寄宿舎生活を送ることに繋がっていたと思います。下級生に対しても、同級生に対しても、様々な場面で、そっと手を差し伸べたり、そっと背中を押したり、そっと声をかけたり、自分の不安や不満もあったと思いますが、互いに協力して生活するために、自然に出る心遣いは、とても素晴らしく、下級生にも伝わったはずです。このような集団生活を送る経験は、今後なかなかできるものではありません。一緒に生活した人たちは、かけがえのない仲間です。この経験をこれからの生活の財産として生かしてください。

３年生が卒業し、今度は皆さんが後輩や新しい仲間の見本とならなくてはなりません。自分の言動に責任をもち、相手を認め、慎重できる人、集団となることを期待しています。そして、自治会が中心となり、これまで以上に自主性・主体性を発揮し、楽しく過ごせる魅力ある寄宿舎としてください。

保護者の皆様、今年一年、送迎や寄宿舎生活に関わり、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。生徒たちは、週末に御家族に会えること、自宅に帰れることを楽しみに集団生活を精一杯送っております。今後も、安心・安全な生活を送ることを第一に考え、生徒主体にマナーやモラルが守られ、自分の良さを生かし、自分らしさを発揮できる寄宿舎となりますよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

寄宿舎送別会

２月 19 日（木）に寄宿舎送別会が行われました。係活動の1、2年生文化係で構成された実行委員を中心に3年生のために、心を込めて準備を進めてきました。第１部は食堂で食事会です。今年のメニューは女子棟に考えてもらったメニューを参考に栄養教諭の伊藤さんに献立を考えてもらいました。ちらし寿司、ミニハンバーグ、春らしい花シューマイ、スマイルポテト、塩ザンギ、マカロニサラダ、わかめスープと種類も豊富で、デザートにはクレープ、お菓子、イチゴオレも付いて、どこのテーブルもみんなお腹いっぱい、笑顔いっぱいでした。

その後、第２部のお別れセレモニーも食堂で行いました。歌あり、応援メッセージありで1、2年生それぞれが、自分の思いをしっかりと3年生に伝えられました。3年生からは、一人ひとり自分の思いをメッセージにし発表してもらいました。発表を進めていくと、思いがあふれ泣き出す3年生、それを聞いてもらい泣きする1、2年生。生徒間の絆の強さも感じられ、すてきな会となりました。

３年生代表の挨拶では、楢見舘ノアさん、菊田拓隼さんから感謝の気持ちが後輩へ話され、最後はみんなで花道を作り、実行委員が作った紙吹雪の中、3年生が退場していきました。思い出に残る温かい送別会になりました。









各棟の様子

『男子棟』

早いもので、今年度も終わりに近づき春休みを迎えようとしています。

３学期に入り、卒業式が近づく中、各舎室で3年生を送る『会食』を行いました。焼き肉、ラーメン、ファストフード、スイーツなど、多彩なメニューを取り入れ、それぞれ会食の時間を満喫していました。

また、男子棟インドアスポーツレクリエーションでは、ミニバレー、卓球、フロアカーリングなどを行いました。全員が参加し、1 年生から 3 年生まで混合チームを作り、対戦していました。　皆、楽しそうに汗を流し、ゲームが終わると「ありがとうございました！」と挨拶をして互いを称えていました。

男子棟ではもう一つ「個人選手権」というレクがあり、自分の得意なことを行う大会がありました。カラオケやフリースロー、カードゲーム、箸つかみ（箸で豆をつかむ）など得意な分野で自分の実力を発揮していました。

日々日課に沿って生活することが中心になりますが、皆で一斉に楽しいことをして、それを共有し合えることが寄宿舎生活の醍醐味でもあります。新学期も生徒が楽しめることを、生徒と一緒に話し合って実施していきたいと思います。





『女子棟』

３年生とのお別れのときが近づく中、女子棟では毎年恒例のお別れ会を行いました。ビンゴ大会では、自分もうれしく皆も喜びそうな物をテーマに、一人 550 円予算で事前に景品を購入し、持ち寄りました。当日は、わくわくドキドキしながらビンゴがスタート。次第に「ビンゴ！」の声が飛び交い、当たった景品を見て「可愛い～」「やった～これうれしい」など大盛り上がりでした。最後にお世話になった先輩に感謝の気持ちを込めて、一人一人メッセージを伝えながら手作りの記念品を贈呈しています。3年生からも挨拶をもらい、別れの寂しさに涙する様子も見られ、感動的な時間となりました。

女子棟で行う行事やレクリエーションの実行委員は、全員が担当できるように計画しています。経験を重ねるごとに話合いの進め方が上手になったり、みんながどうしたら楽しんで参加してくれるかを工夫して考えたりと成長を感じます。今回も実行委員が中心となって話し

合いを行い、３年生を笑顔で送り出すために1，２年生全員が声を掛け合いながら協力し合っている微笑ましい姿が見られました。次年度も仲間との協力や思いやりの持った行動ができる女子棟であってほしいと思います。





異動職員より

大場　奈穂美先生（退職）



長いようで短かった白樺での１０年間。たっくさんの思い出ができました。生徒のみなさん、保護者のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

これからの第二の人生も、明るく元気に過ごしていきたいと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

伊藤　享好先生(室蘭聾学校へ)



室蘭聾学校に異動することになりました。生徒たちと共に生活し、私自身、毎日元気をもらいながら、過ごした１４年間でした。すてきな仲間や生徒たちに囲まれ、楽しく笑顔で過ごせたことに感謝いたします。ありがとうございました。

中村　暁子先生(夕張高等養護学校へ)



白樺に赴任して９年。初めは緊張ばかりの日々が続きましたが、生徒の笑顔に癒やされ、仲間と協力し合い成長していく姿に力をもらい、私自身も貴重な９年間を過ごさせていただきました。生徒と一緒に過ごした寄宿舎生活の思い出を励みとして、新天地でも頑張っていきたいと思います。保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

お願いと御連絡

＜医薬品についてのお願い＞

個人で用意していただくようにお願いしています。必要に応じてお持ちください。

絆創膏・湿布・ホワイトテープ・包帯・綿棒・使い捨て手袋など

＜雑巾寄贈のお願い＞

日頃より、御協力をいただきありがとうございます。1年を通して生徒は寄宿舎の清掃、美化に努めてきました。新年度を迎えるに当たり、各舎室や掃除区域で新しい雑巾の入替えを予定しています。引き続き、雑巾の寄贈をお願いいたします。

白物・色柄物どちらも不足しています。化学繊維よりも綿素材の物を使用しています。よろしくお願いいたします。

＜高速ペガサス号利用者の皆様へ＞

道南バスのホームページで次のようにお知らせが掲載されています。詳しくはホームページの御確認をお願いいたします。

都市間路線でのバスカード車内販売終了および利用終了のお知らせ

日頃から道南バスをご利用いただきましてありがとうございます。

この度、都市間路線において令和８年３月31日をもちましてバスカードの車内販売終了し、令和８年６月30日をもってバスカードでの運賃精算のご利用を終了いたします。

【 令和8年度 4月の行事予定 】

4月 7日(火) 帰舎日(13:15まで)
2・3年生保護者懇談会(13:30～)
舎室発表、舎室移動、個別懇談

4月 9日(木) 入学式
2・3年生下校(15:20)
1年生下校(11:45)
1年生保護者懇談会(12:30～)
新入舎生オリエンテーション
単独帰省・携帯電話オリエンテーション

4月16日(木) 避難訓練(並び方)

4月23日(木) 寄宿舎歓迎会(17:00～)

今年度も『寄宿舎だより』第1～3号まで、お読みいただきありがとうございました。

来年度も寄宿舎の生活で元気に活動する生徒たちの様子をお伝えしますので、引き続き御傾読いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。